

博物館実習Ⅱ 発表 みさと天文台

27141052 下田有馬



受付
右奥へ



みさと天文台の概要

- 和歌山県紀美野町に所在する公開天文台
- 1995年7月にオープン
- 初代台長は観光学部 尾久 土正己教授
- 月・火曜日休館(詳しくはHPを見てください)

みさと天文台 内の施設

- 本館
- プラネタリウム
- 星の塔(105cm反射望遠鏡)
- 電波望遠鏡
- バンガロー



みさと天文台で行われる プログラム（定期催し）

- プラネタリウム(500円)
- 3Dシアター宇宙の旅
(プラネタリウムとセット、無料)
- 全天周映画(500円)
- 星空ツアーNeXT(1000円)
(価格は大人のもの)



実習の日程・概要

日程

- 2023年7月8, 9, 15, 16日 13時45分～22時30分まで

主な実習内容の概要

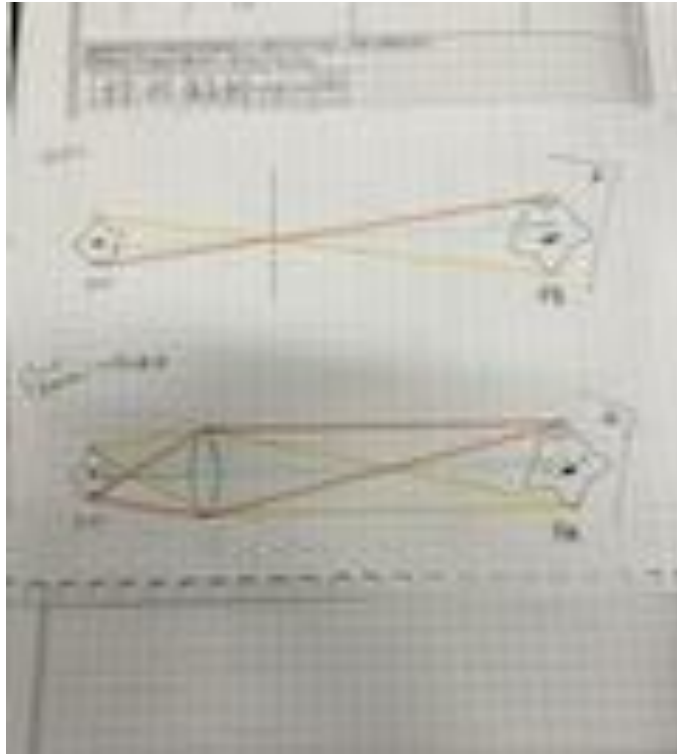
- みさと天文台で実施されているプログラムについて知る
- 天文台ならではの工夫について知る
- 来館者の誘導
- 機材の維持・管理
- 各プログラムの準備・片付け
- 「伝える」ということは何かについて知る

実習の内容 1日目 (7月8日)

- 実際にみさと天文台で行われているプログラムを来館者の視点から知るために、すべてのプログラムに参加した。また、この日は天気が良くなかったため、星空ツアーは屋内で行われた。
- 天文台の機関紙『メガパーセク』を読んだ。
→みさと天文台のこれまでを知る



実習の内容 2日目 (7月9日)



- 望遠鏡レンズの清掃→機材の維持管理について知る
- 「実像はどのようにできるか」について考える
- 望遠鏡に実際に触れる。(向き、ピント調整)
- プラネタリウム、星空ツアー見学



実習の内容 3日目 (7月15日)

- 来館者の誘導(プラネタリウム、星空ツアー)
- 太陽望遠鏡の組み立て、太陽の撮影を行った。
(私もトライしてみたが難しかった。右の写真は天文台の米澤さんが撮影したものである。)
- 出張イベントの準備
- 3Dシアター用の眼鏡の掃除



実習の内容 4日目 (7月16日)

- 来館者の誘導
- プログラムの準備(望遠鏡の準備など)
- 105cm天体望遠鏡(苗村鏡)を用いた星の観察(ベガ、アンタレス、M13球状星団、M57リング星雲)

実習を通して分かったこと

- 博物館の仕事の現状。また、天文台という皆が想像する博物館とは違う仕事(特に資料保存の観点から)
- 実習に行ったのがちょうど梅雨明けに差し掛かる時期だったため、天気に左右されるという点→天文台にとって避けて通れない
(この実習の後、みさと天文台はゲリラ豪雨による落雷で機材が故障し、臨時休館となってしまった。現在は復旧し、通常通り営業している)
- 天文台を訪れることに付加価値をつけるにはどのようにすればよいか
(私が挙げたいのが星空ツアーの価格設定)



実習を通して分かったこと

- 「人に伝える」ことの難しさ
→理解しているつもりではダメ！きちんと基本を知ることが大事
(先に挙げた、実像がその例。)
- 天文台ならではの工夫(左の写真)

参考文献

- みさと天文台 ホームページ（最終閲覧日2023年12月3日）
[天の川に会える奇跡の星空スポット みさと天文台 - トップ \(obs.jp\)](https://www.obs.jp)
- みさと天文台 Wikipedia（最終閲覧日 2023年12月3日）
[みさと天文台 - Wikipedia](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%81%82%E3%81%A7%E5%A9%A5%E5%87%A3)
- みさと天文台 パンフレット